

<主な活動内容>

- ◆ 鳥取大学憲章において、「様々な価値観が交錯するグローバル時代を迎えて、多様な文化や考え方があることを理解し、少数者や厳しい条件下におかれている人々に対する思いやりの心を持ち、社会に対する責任を果たすことを行動の規範とする」とし、「知と実践の融合」の基本理念のもと、地域から国際社会まで広く社会に貢献することを目指していきとしており、全学においてSDGsの達成に向けて幅広く取り組んでいる。
- ◆ 令和3年2月18日に学長をトップとする「鳥取大学SDGs 推進会議」を立ち上げ、全学体制を整備。
- ◆ 今後10年の方針を示した「鳥取大学ビジョン2030(2021年7月27日制定)」のなかで、SDGsに向けた教育、研究を行うことを記載。
- ◆ 多くの方々と課題や目標を共有し、大学が先頭に立ってSDGsのゴールに向けて一緒に取り組んでいけるよう、鳥取大学の教育・研究活動におけるSDGs活動について、実績をとりまとめてHPに掲載。(2019年)
- ◆ 広報誌「風紋」66号に「鳥大SDGs特集 大学の教育・研究を世界の課題解決へ」と題し特集を組み、大学の取り組み事例等を掲載。(2020年)
- ◆ ダイキン工業株式会社と包括連携協定を締結し、乾燥地における空調ソリューションの研究、菌類きのこ資源を利用した香りとストレス軽減効果の検証などのヘルスケア分野の研究、また、大学及び企業との人材交流を行い世界の乾燥地に関するテーマを解決できる人材の育成などを進めていく。(2021年)
- ◆ 米子ガス株式会社と包括的な産学連携を通じ、SDGsの達成への取り組みを視野に入れ、地域社会の持続可能な発展に資する研究・技術開発テーマ創出や人材育成に関することを連携し、協力していくことで協定を締結。(2021年)
- ◆ 鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室の学生スタッフが、「生理の問題」について学生へアンケート調査を行い、大学に取り組んでもらいたいことを取りまとめ提言(2021年)
- ◆ SDGs取組事例集(第2版)を作成し、SDGs達成に向けて取り組んでいる様々な教育・研究活動の可視化。(2021年)

<SDGs達成に向けた今後の活動>

- ◆ 学内の連携強化並びに地域社会及び国際社会とのパートナーシップ構築の推進。
- ◆ SDGs取組事例集を改訂し、随時最新情報を発信。

